

プラズマ見える化[®]

PLAZMARK[®]

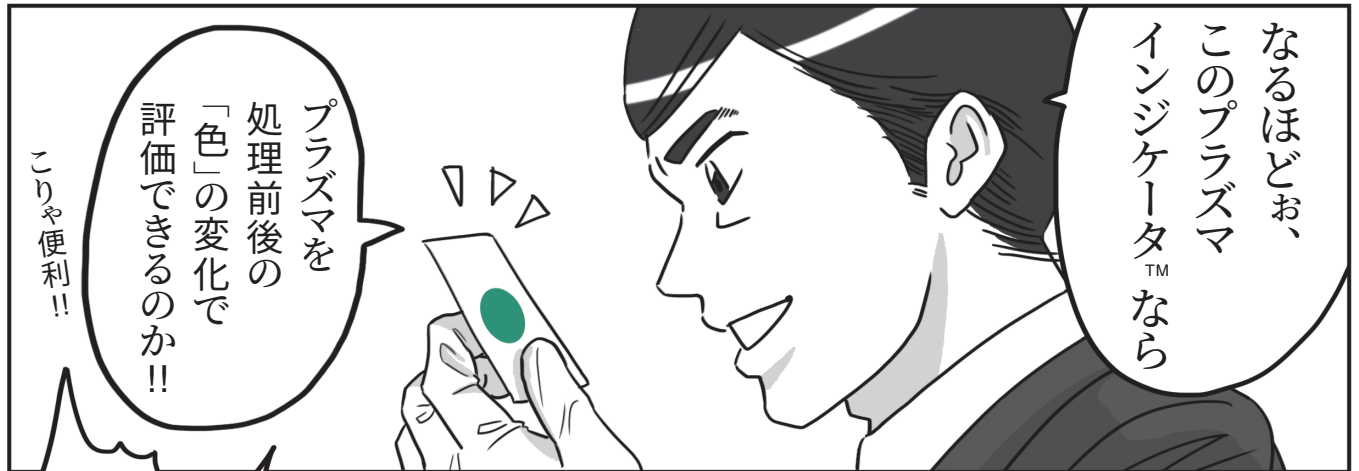
プラズマ処理効果の評価ツール プラズマインジケータ[™]

電離超人 キャプテン・プラズマ

第2話 色の確認方法や如何に!?



キャプテン・プラズマ
PLAZMARK[®]に
出番を奪われがちなヒーロー。



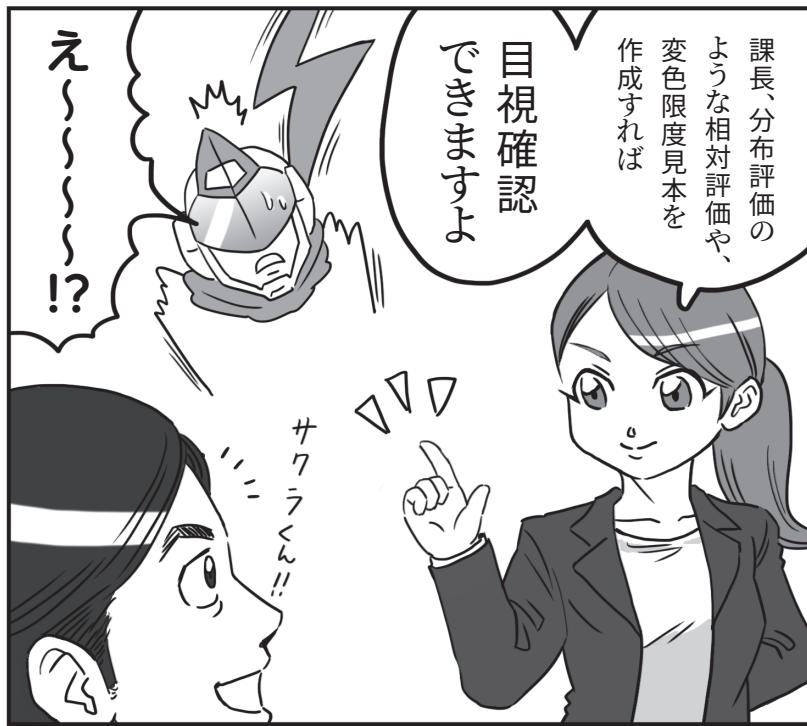
課長
プラズマ処理について
いろいろと悩んでいる。



サクラ
PLAZMARK[®]について
社内一詳しい。

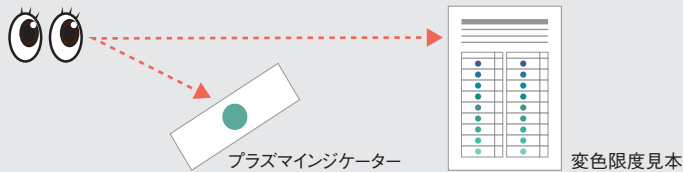


●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございますのでご了承ください。製品カラーは撮影・印刷インキの関係で実際の色と異なって見える場合がございます。
●PLAZMARK、プラズマ見える化、プラズマインジケータは株式会社サクラクレパスの商標または登録商標です。PLAZMARKは日本、ヨーロッパ共同体、米国、その他の国や地域で商標登録されています。



目視だけで簡単・正確チェック

たとえば、プラズマクリーニングの効果確認には、これまで高価な装置が必要であったり、測定に手間がかかっていましたが、プラズマインジケータなら目視でのチェックが可能です。誰もが簡単正確に短時間でチェックできるので、作業効率アップやコスト圧縮に貢献します。

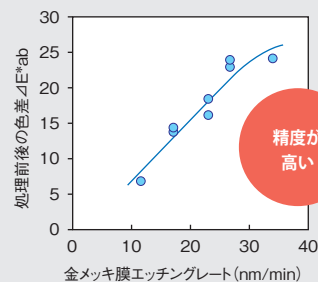


■ プラズマ評価方法比較表

プラズマ評価方法	コスト	操作	分布評価	特徴
PLAZMARK®	◎	◎	◎	判定記録が残る、面内分布評価が容易
電氣的測定	△	△	△	手間暇がかかる、面内分布測定が限定的
光学的測定	△	○	×	視野確保が必要、空間分解能がない
膜厚測定	△	○	◎	高額な装置が必要
接触角測定	○	△	△	ばらつきが大きい
ぬれ試験	◎	◎	×	判定記録が残らない、ばらつきが大きい

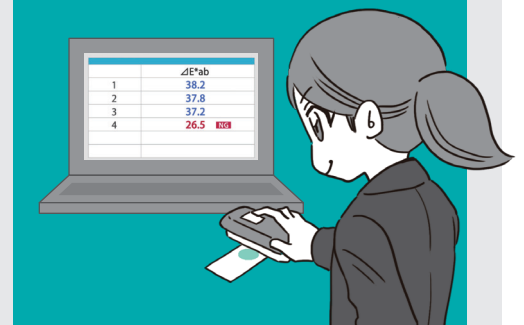
■ 変色の色差と

金メッキ膜エッチングレートの相関例



市販の色差計※を使うと 変色の「数値管理」もできる!

測定のばらつきがほとんどありませんので、色差計を用いて簡単に数値化でき、他の測定結果との相関を確認することができます。また、確実な判定記録色差としてデータを残すことができ、工程管理にご利用いただけます。



※ 印刷物や塗装などの色管理用途に、色彩計、測色計、色差計などの名称で市販されています。

